

# TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成25年2月7日 第69号  
浜田市農林業支援センター

## はじめに

浜田市農業再生協議会では平成25年産米の生産数量目標の配分を各自治区にお示したところですが、昨年より39ha少ない配分と成っています。

米の生産数量目標の減少分の対応策として浜田市農業再生協議会では、水田の水張り面積を維持・拡大し、生産数量目標の外数である備蓄米及び島根あさひ社会復帰促進センターへの主食供給米である共生米の取組を推進して行きたいと考えていますので、ご検討をお願い致します。

(浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一)

## 1. 各支援チームからの話題

### ★ 新規就農者支援チーム (担当: <sup>いなだ</sup>稲田・<sup>なかた</sup>中田)

## 意見交換会開催しました

1月23日、新規就農者と農業研修生(修了生)を対象とした意見交換会を開催しました。

参加者から、現在の状況や今後の展望などをお話いただき「人とのつながりが大切」「野菜の生長が嬉しい」などの意見がありました。また今回は、浜田地方農業士会から(株)扇原茶園の佐々木玲慈さんにご参加いただき、自らの体験談を踏まえ、参加された方へのアドバイスをいただきました。意見交換会終了後、希望者で懇親会を催し、そこでも活発な意見交換ができました。

後継者や担い手が不足している現在において、新規就農者や研修生は今後地域の担い手として期待されます。今後も当支援センターでは、ネットワーク作りに取り組んでいきます。



### ● 認定農業者支援チーム (担当: <sup>なかた</sup>中田・<sup>いなだ</sup>稲田)

## イチゴ狩りオープン!



金城町の認定農業者 **有限会社KKN**と**合同会社めぐりこるWEST**が共同で運営する**きんた農園ベリーネ**では、今年もイチゴ狩りがオープンしました。

1月15日より始まった観光農園には、「**紅ほっぺ(べにほっぺ)**」「**さちのか**」「**章姫(あきひめ)**」の3品種のイチゴが、ハウスの中で真っ赤に色付き、来園者をお待ちしております。また、昨年より、食べ放題が50分に延長され、ゆったりとできる入園時間となっています。摘みたて新鮮な完熟イチゴの爽やかな甘みと酸味を、ぜひお楽しみください。観光農園は、予約制で、5月までとなっておりますのでお早めどうぞ。

### ■ 集落営農組織支援チーム (担当: <sup>たばら</sup>田原・<sup>かまはら</sup>鎌原)

## 島根県集落営農推進シンポジウム

先月本紙にて紹介しましたが、2月5日出雲市のビッグハート出雲において、**集落営農推進シンポジウム**が開催され、浜田市からもいくつかの集落営農組織がご参加くださいました。今回のシンポジウムは「今改めて、地域のビジョンを考えてみよう!」をテーマに開催され、県内の事例報告とパネルディスカッションが行われました。

事例報告では、県内の3組織がそれぞれ抱える問題に対し集落が目標とする将来像(**集落ビジョン**)を作成して取組んできたことを報告されました。

これらの取組みは、組織だけでなく集落全体の活性化にも貢献する内容であり、**農山村地域経済研究所長 楠本雅弘氏**の高い評価を受けるとともに、今後の取組みについて様々なアドバイスを受けておられました。

現在、浜田市のいくつかの集落においても、集落ビジョンを作成する取組みが行われています。今後も、県内の事例を含め、地域の実情に合った有益な情報をみなさまにお伝えしたいと思います。



## 2. 新規就農激励会がありました



1月31日、(財)しまね農業振興公社による平成24年度新規就農激励会が開催されました。同公社では、新規就農者が行う技術向上や販売戦略などの研究活動に対し助成しており、今回は県内で17名の方が取組まれました。

浜田市では、柿元信次さん(金城町)、岩地泰裕さん(旭町)、森田直喜さん(弥栄町)の3名が実施されました。取り組み内容としては、収穫量安定のための葉面散布実証、オリジナルシールの開発、独自出荷箱による出荷経費削減を実践され、それぞれ効果を確かめられました。



した。

今回の研究活動を契機に、今後の経営安定と、さらなる発展を期待しています。

## 3. 農業研修希望者の現地視察会



浜田市では、農業の担い手育成を目的としてふるさと農業研修生育成事業を実施しています。

2月2～3日に、研修希望者の方を対象に現地視察会を開催しました。研修受入の経営体から、現在の営農状況のほか、農業の辛さや喜びなど、実体験を交えて説明いただきました。中でも「雇われる気持ちではなく、自身で経営する感覚で勉強して欲しい」「自分への甘えが、結果に出る」など貴重なお話があり、参加者の方々は真剣に聞き入っていました。

今後は、希望する経営体での短期研修、審査会を経て、4月から研修スタートとなります。これからも研修希望者を繋げ、担い手の確保に努めていきます。

## 4. 市民サロンに「ミクニマルシェ」コーナーがオープンしました！

「はまだ食の大使」三國清三シェフが推奨する浜田市の特産品「ミクニマルシェ」の特設コーナーが、1月21日に浜田駅の市民サロンにオープンしました。

「ミクニマルシェ」の特設コーナーでは、「ミクニマルシェ」に認定された19品の特産品のうち、11品が陳列・販売されています。

この機会にぜひ、浜田が誇る特産品の数々をお試しください。



## 5. 「果樹の長期保存」成果報告



▲70日間保存したピオーネ

23年度から島根大学と浜田市で受託研究契約を結んで、各種実験を行ってきました。このたび、生物資源科学部附属生物資源教育研究センター松本准教授より、ピオーネと西条柿の長期保存実験の成果の報告会がありました。

研究内容は、カビの発生防止と湿度管理による保存方法の検証で、結果は一部で軟化による品質低下はあったものの、概ね長期保存の成果が得られたとのことでした。

この結果を受けて、果樹生産者とJAを中心に果実類の端境期にある、歳暮やクリスマスの年末商戦に販売できるよう取り組みを進めていきます。

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

### ■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp